

国際機関で働こう！



外務省 国際機関人事センター



ボクは国際機関人事センターのマスコットジンセです！
キミもぼくと一緒に国際機関をめざそう！

目次

どんな**国際機関**があるの？ p. 3

国際機関人事センターって何をするところ？ p. 5

国際機関職員になるための**主な方法** p. 5

①**空席公告**で国際機関職員になる！ p. 6

②**J P O 派遣制度**で国際機関職員になる！ p. 1 2

J P O 応募から派遣までの流れ p. 1 3

J P O Q & A p. 1 4

③**Y P P 試験**で国際機関職員になる！ p. 2 2

④**その他**の方法で国際機関職員になる！ p. 2 3

国際機関職員になる**前**に経験を積む機会 p. 2 4

国際機関人事センターからの**情報入手方法** p. 2 6

おわりに p. 2 7

国際機関とは、多数の国家が共通の目的
を実現するために合意によって作り上げる
国際的な団体のことだよ。
国際機構、国際組織ともいいます。



どんな国際機関があるの？

国際機関名	どんな仕事をするの？
 <p>国連事務局 UN http://www.un.org</p>	<p>国際平和と安全の維持、経済・社会・文化面の国際協力の達成などを目的とし、世界各地にある国連事務所で働く職員で構成され、多岐にわたる国連の活動を遂行する。ニューヨークの国際連合本部内に設置された各部局をはじめ、世界各地にも各種事務所が配置されている。</p>
 <p>国連開発計画 UNDP http://www.jp.undp.org</p>	<p>貧困の撲滅と不平等と排除の是正を同時に達成するために、①持続可能な開発、②民主的ガバナンスと平和構築、③気候変動対策と強靱な社会の構築、の3つを重点分野に掲げ、約8000名のスタッフが170以上の国・地域で活動している。</p>
 <p>国連人口基金 UNFPA http://www.unfpa.org.jp</p>	<p>人口問題を、単なる数の問題ではなく人間の尊厳の問題として取り組む。特に政策づくりと実施の両面から、貧困削減や持続可能な開発、性と生殖に関する健康と権利(SRH/RR)の推進、女性のエンパワーメント(女性の能力強化を通じた社会的地位の向上)、国勢調査を含む研究調査などの支援、これらの問題の啓発活動を行う。</p>
 <p>国連難民高等弁務官事務所 UNHCR http://www.unhcr.org.jp</p>	<p>世界各地にいる難民の保護と支援を行うため、難民に対する国際的保護、難民問題の恒久的解決、難民保護のための条約等の締結促進、無国籍者の保護における国際協力の強化、難民条約締結国の条約適用支援等を行う。</p>
 <p>国連児童基金 UNICEF http://www.unicef.org/tokyo</p>	<p>すべての子どもたちの権利が守られる世界を実現するため、保健、HIV/AIDS、水・衛生、栄養、教育、子どもの保護等の分野において、自然災害や武力紛争の際の緊急人道支援から中長期的な開発支援まで幅広く活動し、また、子どもの生存のための現場での支援に加え、子どもたちをめぐる現状分析、モニタリング、具体的な政策提言も行う。</p>
 <p>国連世界食糧計画 WFP http://wfp.org/jp</p>	<p>飢餓のない世界を目指して活動する、世界最大規模の人道支援機関。毎年、約80カ国で9千万人以上に食糧支援を実施。緊急時には、ロジスティクスで国連全体を率いる。職員の約9割が途上国の最前線で活動する、フィールド重視の国連機関。</p>
 <p>国連食糧農業機関 FAO http://www.fao.org.jp</p>	<p>世界経済の発展及び人類の飢餓からの解放を目的とし、世界の人々の栄養水準及び生活水準の向上、食料及び農林水産物の生産及び流通改善、そして農村住民の生活条件の改善を目指す。</p>
 <p>国際原子力機関 IAEA http://iaea.org</p>	<p>原子力の平和的利用を促進するとともに、原子力が平和的利用から軍事的利用に転用されることを防止することを目的とし、研究、情報交換、専門家の訓練、保障措置、安全上の基準の設定等を行う。</p>
 <p>国際労働機関 ILO http://www.ilo.org/tokyo</p>	<p>労働条件の改善を通じ、社会正義を基礎とした世界平和の確立を目的とし、ディーセント・ワーク(人間らしい働きがいのある仕事)を実現するため、国際労働基準の設定・監視、雇用機会の拡大や基本的人権を確保するための国際的な政策・計画の策定、広範な技術協力、訓練・教育・調査等を行う。政労使の三者構成で運営される。</p>
 <p>世界保健機関 WHO http://www.who.int</p>	<p>すべての人々が可能な最高の健康水準に到達することを目的に、医学情報の総合調整、国際保健事業の指導的かつ調整機関としての活動、保健事業の強化についての世界各国への技術協力等を行う。</p>
 <p>経済協力開発機構 OECD http://oecd.org/tokyo</p>	<p>世界の人々の経済や社会福祉の向上に向けた政策を推進するため、財政金融上の安定を維持しつつ、できる限り高度の経済と雇用、生活水準の向上の達成を図り、世界経済の発展及び経済発展の途上にある地域の健全な経済成長に貢献し、世界貿易の拡大に寄与する。</p>

どんな**国際機関**があるの？

他にもこんな専門的な
国際機関もあるよ～！



国際機関名	どんな仕事をするの？
 国連工業開発機関 UNIDO http://www.unido.or.jp	開発途上国における包摂的かつ持続可能な産業開発を促進するために、技術協力、政策提言、投資・技術移転促進、調査研究などの活動を実施している。
 国連訓練調査研究所 UNITAR http://www.unitar.org/hiroshima/ja	世界各国の政府・大学・民間企業・NGO等からの専門家を対象として、平和構築・復興プロセス・軍縮・世界遺産の管理と保全・バランスの取れた持続可能な成長をテーマとした研修を実施している。
 国連人間居住計画 UN-HABITAT http://www.fukuoka.unhabitat.org	政策提言、能力開発、国際・地域・国家・地方といったレベルでのパートナーシップ構築をととして、社会的、環境的に持続可能なまちや都市づくりを促進する。
 国際熱帯木材機関 ITTO http://itto.int/ja	熱帯林の持続可能な経営を促進し、合法的な伐採が行われた森林からの熱帯木材の国際貿易を発展させるため、木材生産国と木材消費国との間の国際協力を促進する。
 国際移住機関 IOM http://www.iomjapan.org	「人としての権利と尊厳を保障する形で行われる人の移動は、移民と社会の双方に利益をもたらす」という基本理念に基づき、移民個人への直接支援から関係国への技術支援、移住問題に関する地域協力の促進にいたる幅広い活動を行う。
 国際獣疫事務局 OIE http://www.rr-asia.oie.int	世界の動物衛生の向上を目的とし、世界で発生している動物疾病に関する情報の提供、動物疾病の制圧及び根絶に向けた技術的支援及び助言、動物及び動物由来製品の国際貿易に関する衛生基準の策定等を行う。



国際機関はまだたくさんあるんだ！もっと
知りたい人は、**国際機関人事セン
ターHPの「どんな国際機関
があるの？」**を見てね！

国際機関人事センターって何するところ？

外務省 国際機関人事センターは、国連をはじめとする国際機関への就職を目指す日本人の方々及び既に国際機関で勤務している日本人の方々のポストの獲得と昇進を目指し、次のような支援を行います。

- ・若手日本人を国際機関に原則2年間派遣するジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）派遣制度の実施
- ・国際機関の空席ポストの情報提供
- ・日本人職員採用に向けた国際機関への働きかけ
- ・「国際機関キャリア・ガイダンス」の開催 等



国際機関職員になるための主な方法

	①空席公告	②JPO派遣制度	③YPP試験
実施機関	各国国際機関	外務省	国連事務局
年齢制限	特になし	35歳以下	32歳以下
学歴	修士号以上	修士号以上	学士号以上
職歴	2年以上	2年以上	問わない
ポイント	毎日多くの国際機関から様々な空席公告が出るので、随時応募することができる。	日本人の中だけの競争であるため、空席公告よりは倍率が低い。	学士号のみ、職務経験無しで応募可能。

① 空席公告で国際機関職員になる！

空席公告への応募

職員の退職、転任、転出あるいはポストの新設によってポストに欠員が生じた場合に、国際的に公募されます。

応募したい空席ポストがあり、資格要件を満たしている場合には、所定の応募用紙を各国国際機関のウェブサイトから入手し、記入の上、各国国際機関に直接応募します。

空席公告の探し方

- ◆ 各国国際機関機関ウェブサイトの「**Job**」・「**Career**」・「**Employment**」・「**Recruitment**」等のページに掲載されているのを探す。
- ◆ 常時数百以上が公開されている。

<チェック事項>

- 学歴，職歴の必要条件は満たしているか
- 応募書類を作成し，**オンラインで応募**する
- **同時に複数のポストに応募可能**

「**空席公告**」を探すのは大変そうだね！
でも、とっても便利な方法があるよ！
次のページで紹介します！



空席公告で国際機関職員になる！

国際機関人事センターのHPを開いて、
「**最新の空席情報**」をクリックしてください！



外務省 国際機関人事センター



どんな国際機関があるの？	最新の空席情報	JPO派遣制度とは？	日本人職員の声
国際機関の仕事とは？	国際機関職員募集情報	インターンシップ情報	リンク



当センターでは**2週間毎**に主な国際機関の最新空席情報をまとめてupしているよ！エクセル版でも取り出せるから、フィルターをかけて検索もできます！

最新の空席一覧

[ダウンロード\(エクセル版\)はこちらをクリック](#)

平成27年2月27日現在

[P-1/P-2](#) [P-2](#) [P-3](#) [P-3/P-4](#) [P-4](#) [P-5](#) [P-6](#) [D-1](#) [D-1/D-2](#) [D-2](#) [\(N/A\)](#) [PL-3](#) [PL-5](#) [ASG](#) [USG](#)

	Level	Organization	Post Title		Duty Station	Vacancy Code	Closing Date
1	P-1/P-2	UNESCO	Associate Auditor	Office of Internal Oversight	FR-Paris	IOS 013	23-Mar-2015
New! 2	P-2	FAO	Partnerships Officer	Regional Office for Europe and Central Asia, REU	Budapest, Hungary	IRC2767	02-Mar-2015
3	P-2	CTBTO	Associate Analyst - Multiple			VA288-02-2015	12-Mar-2015
4	P-2	CTBTO	Associate Services Officer			VA5-40-2014	07-Mar-2015
5	P-2	ICAO	Associate Environment Officer		Montreal	2015/06/P 110904	02-Mar-2015
New! 6	P-2	ICC-Criminal	Associate Analyst (P-2)	Investigative Strategies and Analysis Unit, Investigation Division, Office of the Prosecutor	The Hague	5005EE-PO	10-Mar-2015
New! 7	P-2	ICC-Criminal	Information Officer (Evidence and Analysis Systems) (P-2)	Knowledge Base Unit, Office of the Prosecutor	The Hague	5008EE-PO	11-Mar-2015
New! 8	P-2	UN	Associate Population Affairs Officer	Department of Economic and Social Affairs	New York	15-POP-DESA-39487-R-NEW YORK (X)	11-Apr-2015
New! 9	P-2	UN	Associate Joint Operations Officer	AU/UN Hybrid Operation in Darfur	El Geneina; Nyala	15-POL-UNAMID-40643-R-MULTIPLE D/S (M)	20-Mar-2015
New! 10	P-2	UN	Associate Communications Officer	United Nations Human Settlements Programme	Goma	15-PUB-UNHABITAT-38234-R-GOMA (E)	18-Mar-2015

空席公告で国際機関職員になる！

国際機関名：国連児童基金
(UNICEF)

タイトル：東京事務所
コミュニケーション担当官

名前：佐々木 佑（ささき・ゆう）



Career Path

1998年 国際基督教大学・国際関係
学科入学

2000年 カリフォルニア大学サンディ
エゴ校へ交換留学

2002年 民間会社入社

2005年 コロンビア大学ティーチャー
ズ校入学

2006年 UNDPでインターンシップ、
その後、コンサルタントとして勤務

2007年 民間会社でコンサルタント

2010年 公益社団法人プログラム・
オフィサー

2012年 特定非営利活動法人メディ
ア・オフィサー

2014年 UNICEF東京事務所コミュニ
ケーション担当官

◆どんな勉強をしましたか？◆

大学では**国際政治学**を専攻し、大学院では**開発教育学**で修士号を取得しました。

勉強に加えてとても役に立ったのは、**インターンシップ**です。大学1年生の春休みには東京のNGOでインターンシップを、**大学院の夏休み**には**UNDPニューヨーク本部の開発政策局**で**インターンシップ**をしました。

NGOと国連の両方を経験できたことは、後にNGOに転職する時に良いアピールになりました。

◆どんな職歴をお持ちですか？◆

大学を卒業して、最初は**社会人としての経験を積もうと**、民間PR会社に就職しました。プレスリリースの作成、記者会見や新製品発表会等を企画・運営したり、顧客企業の**広報戦略の策定**等を行いました。

その後、大学院に進学。大学院卒業後の進路については、家族の事情もあり日本に帰国し、東京の**ビジネスコンサルティング会社**に就職しました。この選択をしたのは、UNDPでインターンをした際、国連職員の方に進路について相談することができ、ビジネスコンサルタントとして磨くことができるマネジメントスキルや論理的思考力等は国連でも求められているという印象を持ったためです。

3年間コンサルティング会社で働いた後、**国際NGOセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン**に就職しました。最初の1年弱は東京事務所にて**南スーダンの事業を担当**し、東日本大震災が起こってから仙台事務所に赴任して緊急・復興支援担当として岩手、宮城、福島で活動しました。

2012年末には東京に戻り**オックスファム・ジャパン**で政策提言チームの**メディア・オフィサー**として、政策提言メッセージをメディアに取り上げてもらえるように働きかける仕事をしました。

振り返ってみると、今までと全く違う分野で活動してきたように思えますが、何か一つ欠けていても今の仕事はできていなかったらと思います。最初のPR会社で身に着けた**広報のスキルと経験**、ビジネスコンサルタントとして学んだ**プロジェクトの運営スキル**、NGOで得ることができた**現場経験**、政策提言チームの**メディア担当としてのスキル**...どの経験も現在の仕事にすべて活かしています。

空席公告で国際機関職員になる！

◆国際機関を目指したきっかけは何ですか？◆

大学の頃から国際開発の分野で働きたいと思っていましたが、途上国や紛争国で社会開発の仕事ができれば、働く場所はどこでも構わないと思っていました。

しかし、UNDPでインターンをした時、国籍も文化も違う人達が、共通の目標に向かって力を合わせて働いている国際機関ならではの環境にとっても惹かれました。

日本人であることを忘れるべきではありませんが、地球規模の課題に取り組む「地球人」として、世界の人々と同じ土俵で働くことができる、こうした環境が揃っている職場はあまり多くないと思います。

また、国際機関では政策レベルで相手国政府と直接やり取りができ、メディアからの注目度も高いことも目指した理由です。例えば、政策提言を多くの人に賛同してもらいたい時に、国際機関ならではの影響力の大きさは強い武器になります。

佐々木さんは、JPO
を経ずにダイレクトに
空席公告でUNICEFに入りました！



◆今の仕事について◆

UNICEF東京事務所は、日本と韓国政府とのパートナーシップ強化、両国政府からの資金調達及び子どもの権利に関する政策提言を行っています。

私はそうした活動を広報面からサポートしています。具体的な業務としては、日本政府とUNICEFとの政策協議の場を設定したり、日本のODAで実施されているUNICEFの事業情報をメディア等を通じて発信したり、様々な政策提言についてのイベントを開催しています。

また、UNICEFの親善大使である黒柳徹子さんのやり取りや超党派のユニセフ議員連盟との窓口担当をしています。

自主性をもって仕事にあたっており、東京事務所全体の戦略を広報としてどのようにサポートできるのかについてアイデアを自由に出すことができます。アイデアが良ければ任せてもらえるので、難しくともやりがいがあります。

◆国際機関を目指す方へ◆

寄り道することを恐れないでほしい、と思います。私が最初にNGO職員として開発に携わることができたのは30歳を過ぎてからで、UNICEFで勤務を開始したのはさらに数年経ってからです。

決して最短距離を歩んだ訳ではありません。しかし、効率性や結果を重んじる企業で働いたからこそ身についた姿勢やスキルが多くあり、日々の業務を遂行する上での基礎になっています。

また、NGOで被災地の現場に寄り添って支援をした経験は、東京にいる今でも子どもたちの顔を思い出させてくれて、活動のモチベーションになっています。

プロフェッショナルとして自分を育て上げていく寄り道自体も、とても重要なプロセスなのだと思います。

国際機関で働くまでの道のりが遠いように思えても、自分の付加価値は何なのかを問い、アピールできる経験を積み上げて準備をすることが大切です。

既に応募したい職種がある程度分かっている人は、その職種に必要な経験やスキルを確認し、それを意識しながら経験を積むことが有効だと思います。

国連は多種多様な人材を求めていますし、多様性はこれからますます必要になってくるでしょう。

アピールできる実力と情熱があれば、今の仕事が国際機関の仕事に直接関わってなくても、挑戦する価値は十分にあるのではないのでしょうか。

空席公告は空席が出た時にしか募集がありませんが、チャンスがめぐってきた時にそれをつかむために、あせらず、一つ一つキャリアを積み上げていくことが重要だと思います。



空席公告で国際機関職員になる！

国際機関名：国連事務局（UN）
タイトル：広報局 広報官
名前：須賀 正義（すが・まさよし）



◆どんな勉強をしましたか？◆

私の場合は**国際機関に特化した勉強はしていません**。英語でニュースを伝える仕事をしていたので、それが現在のポスト獲得に繋がったと思います。マスコミ、PR会社、企業やNGOの広報部などの経験者は、仕事で学んだことがそのまま活かせると思います。

採用の試験対策としては**会議の録音を聞き、それをプレスリリースにまとめたり、長文のレポートを字数制限内で要約する**というような勉強が有効です。広報関連のポストでは文章を要約するスキルは必須です。また、広報以外のポストでもレポート作成力が鍵となります。国連の文章に慣れておくことも必要です。

Career Path

1987年 米国に一年間語学留学

1989年 早稲田大学教育学部卒

1989年 英字紙朝日イブニング
ニュース記者となる

2000年 渡米、CNN日本語ニュー
スサイト編集者

2004年 米ジョージア州立大学で
MBA(経営修士号)を取得

2005年～日本経済新聞アメリカ社
でニュース翻訳者として勤務

2012年 47歳で国連広報局の広
報官に就任

◆どんな職歴をお持ちですか？◆

日本で大学卒業後、1989年、英文朝日社（朝日新聞社の子会社）に入り、英字紙朝日イブニングニュースの**記者**になりました。日本に住んでいる外国人向けに日本のニュースを英語で報道する仕事でした。政治、経済、社会、文化、スポーツなど多分野の取材を経験しました。

2000年、**36歳で転職を決意**し、米国アトランタに本社のある**CNN**の日本語ニュースサイトの編集者になりました。ところが2001年にネット業界のバブルが弾け、事業縮小となり、**失職**しました。

それを機に、**大学院で経営修士号(MBA)を取得**し、マスコミ業界で再就職。2005年から約6年半、日本経済新聞アメリカ社で経済・金融記事を英語に翻訳していました。

須賀さんは、なんと**47歳**に
してはじめて**空席公告**で国
連に入りました！
転職の星だね！



空席公告で国際機関職員になる！

◆国際機関を目指したきっかけは何ですか？◆

国際公務員の仕事にはもともと憧れがありましたが、それとは異なるキャリアを歩んでいました。渡米後に失業したことで自分を見つめ直すことが出来、**マスコミでのキャリアを生かして、国連に転職する道もあるのではないかと模索**するようになりました。

2011年、**外務省の国際機関人事センターが主催した国連就職ガイダンスに参加**しました。国連人事部の方が来て、応募書類の書き方などを説明してくれました。その後、国連広報局で働いている邦人職員の方からもアドバイスを受け、**約半年で18の空席公告の広報ポストに応募し、現職を勝ち取りました。**



◆今の仕事について◆

広報官と言っても、仕事が細分化されています。私の場合は正式なタイトルはプレスオフィサー（報道担当官）。**ニューヨーク国連本部**で開催される総会、主要委員会、安全保障理事会、経済社会理事会などの公式会合を傍聴し、会議の内容を要約し、英文のプレスリリースにまとめるのが仕事です。

英語のプレスオフィサーは常勤が私を含め7名いますが、**私以外は皆、英語が母国語**です。総会の通常会期は毎年9月の第3火曜日に始まり、同月の下旬には各国の首脳が一堂に会し、スピーチをします。会議場にはプレスオフィサー専用の席があり、そこに設置された端末から発言を次々と要約してエディターに送ります。例えば、15分程度のスピーチは数段落にまとめます。第69期総会では**オバマ大統領のスピーチを私が要約**しました。

◆国際機関を目指す方へ◆

電気製品は質が優れていても、規格が違えば海外で使えません。人材にも同じようなことが言えるかも知れません。教育やキャリアの作り方など日本と世界の「規格」は違います。優劣を言っているではありません。**違いを認識しておくこと**です。**世界規格にあった人材を目指して下さい。**

語学力、コミュニケーション能力、専門性、異文化を理解する力、奉仕精神、実行力、リーダーシップ、ビジョン、批判的思考、戦略的思考などを**バランスよく身につけることが大切**だと思います。すでに国連・国際機関でのキャリアを描いている方は自分がやりたい分野に求められている職責、能力、経験などをよく研究して、**逆算して着実に経験を積んでいくことが大事**ではないでしょうか。国際機関への転職は数年がかりのプロジェクトですので、毎年、自分の職務履歴書を書き直すことをお勧めします。

私のように既に**10数年以上のキャリアを積んでから、国連を考え始めたという人は自分の専門分野、経験にマッチしたポストを探し出すことが重要**だと思います。

私は米国での生活が15年になります。終身雇用の伝統がある日本とは異なり、転職が当たり前の社会なので、キャリア形成に対して常に意識せざるを得ませんでした。失業も経験しましたので、面接の練習もたくさんやりました。グループの中では積極的に発言や提言をする習慣も身につけました。こうした努力が世界規格の人材形成に繋がると 생각합니다。



② J P O 派遣制度で国際機関職員になる！



主な派遣機関

国連事務局 (UN)
国連開発計画 (UNDP)
国連人口基金 (UNFPA)
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)
国連児童基金 (UNICEF)
世界食糧計画 (WFP)
国連食糧農業機関 (FAO)
国際労働機関 (ILO)
国連教育科学文化機関 (UNESCO)
世界保健機関 (WHO)
国際移住機関 (IOM)
経済協力開発機構 (OECD) 等

国連事務局を始めとする国際機関では、様々な分野のバックグラウンドを有する人材が広く求められています。

外務省では、将来的に国際機関で働く正規職員を志望する若手の日本人を対象に、派遣に係る経費を負担し、一定期間(原則2年間)各国際機関へ職員として派遣し、派遣期間終了後に国際機関で正規ポストを獲得し、将来にわたって正規職員として勤務していくために必要な知識・経験を積む機会を提供する目的で、**ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー (J P O) 派遣制度**を実施しています。

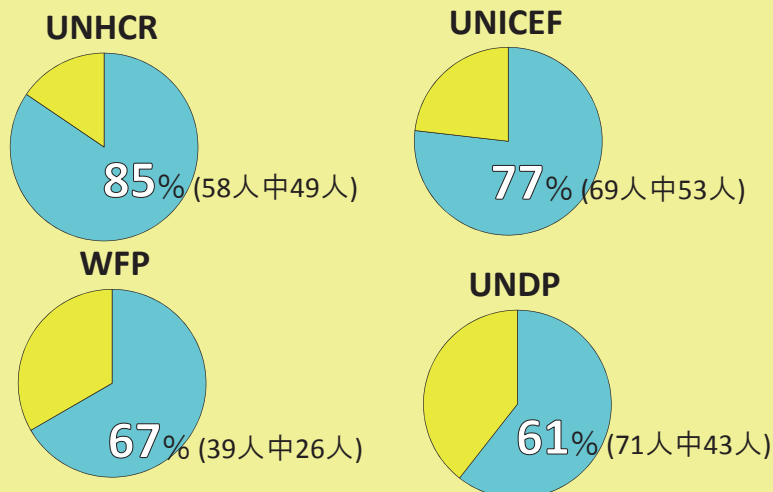
J P O の派遣先は、外務省が派遣取決めを結んでいる国際機関が対象です。

主な専門分野

開発・人権・人道・教育・保健・平和構築・モニタリング評価(M&E)・環境・工学・理学・農学・薬学・建築・防災

人事・財務・会計・監査・総務・調達・広報・渉外・IT・統計・法務等

主な国際機関の日本人職員(専門職以上)に占める J P O 経験者の割合



1974年から実施し、これまでに累計**1,400人**を派遣しています。国連関係機関の日本人職員(専門職以上)**779人中340人(43.6%)**が**JPO経験者です**(2013年12月31日現在)。年度や機関によって異なりますが、派遣終了直後、概ね**5～7割の方**が国際機関に正規採用されています。

JPO派遣制度で国際機関職員になる！

年度別		
年度	派遣者数	(JPO派遣選考試験応募者数)
2013年度	40人	(285人)
2014年度	44人	(301人)



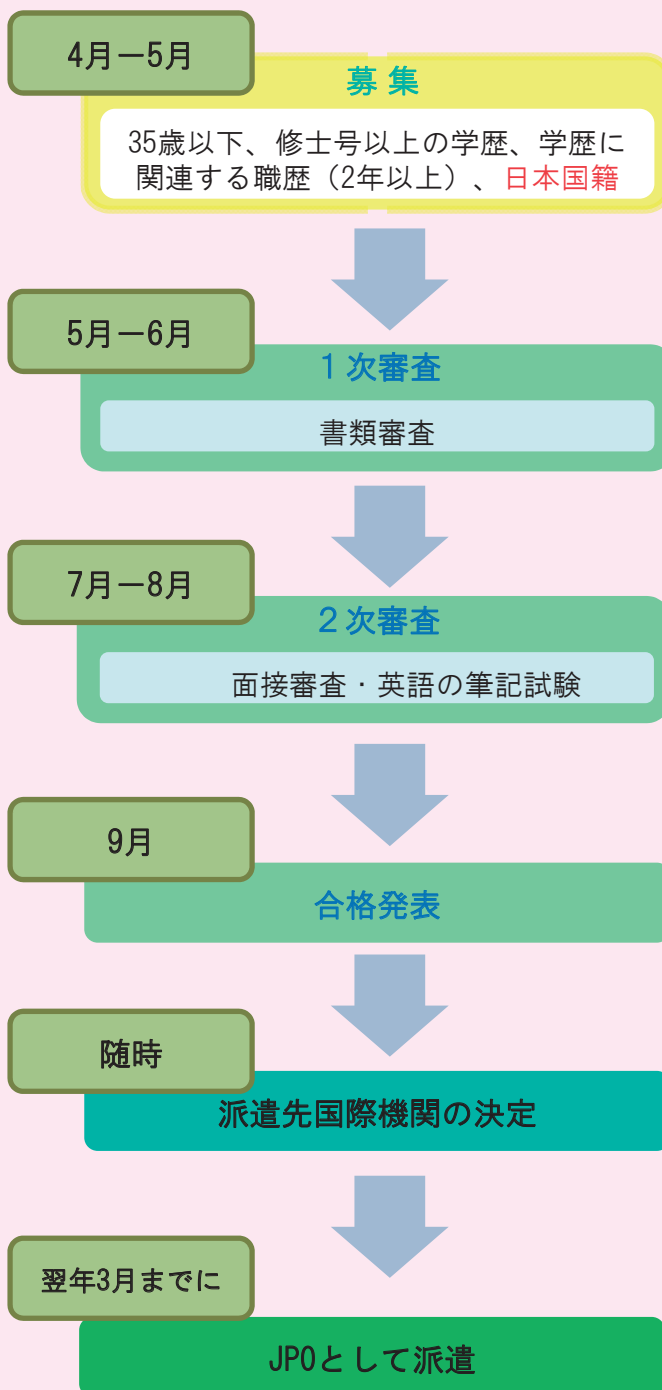
応募から派遣までの流れ

JPOとして派遣されるためには、外務省で実施しているJPO派遣候補者選考試験に**合格**する必要があります。

JPO派遣候補者選考試験は、通常年1回実施しています。募集要項は、国際機関人事センターのウェブサイトに掲載されます。



JPO試験の募集は**毎年4月**から始まるんだ！



注：年度によって変更される場合があります。

JPO派遣制度で国際機関職員になる！

Q & A

Q1

JPO派遣候補者選考試験を受験するにあたって、
どのような準備が必要ですか？

A 学歴、職歴、語学力を備える必要があります。

将来、国際機関で即戦力として活躍できるような方がJPOとして派遣されています。したがって、目指す国際機関や分野に関連する学歴や職歴を積むことに加え、国際機関で仕事をする上で支障がない程度の語学力を身につける必要があります。

Q2

受験に年齢制限はありますか？

A 35歳まで受験可能です。

学歴や職歴などの他の要件を満たしている方であれば受験できます。

Q3

受験回数に制限はありますか？

A ありません。

35歳以下であれば何度でも受験できます。

Q4

国際機関でのインターンやボランティア等の経験は
職務経験とみなされますか？

A みなされません。

無給のインターンやボランティアは、職務経験とはみなされません。

ただし、国連ボランティア(UNV)や青年海外協力隊(JOCV)は、名称にボランティアとありますが、職務経験とみなされます。

関連Q

有給のインターンやボランティア等は職務経験としてみなされますか？

A フルタイムの正社員と同等の職務形態・内容が否かで判断します。

個別の職務経験が、応募資格として認められるかにつきましてはお答えしていませんが、有給であればすべて認められるのではなく、個別の職務形態・内容で判断します。

Q5

海外の大学院で修士号を取得したほうが
選考時に有利に評価されるのでしょうか？

A 有利・不利は生じません。

選考においては、どの大学院で修士号を取得したかではなく、応募者がどの専門分野で修士号を取得しているかが重視されます。

Q6

JPO派遣候補者選考試験の受験にあたり、
どのような分野の修士号を取得したり、職務経験を積みばよいのでしょうか？

A 国際機関での業務に関する分野の学歴、職歴を積む必要があります。

応募者自身が「国際機関でどのような業務に携わりたいか」という点を踏まえて、その業務の遂行に求められる専門分野に関連する修士号を取得し、その分野での職務経験を積む必要があります。



JPO派遣制度で国際機関職員になる！

Q7

派遣先の国際機関・地域の希望は考慮されますか？

A 考慮されますが、必ずしも希望が叶うとは限りません。

派遣先国際機関の決定に際しては、派遣候補者の専門性や経歴が活かせるか否か、将来的な正規採用の可能性があるか否かを総合的に勘案した上で外務省が決定しますので、必ずしも希望する国際機関・地域に派遣されるとは限りません。

Q8

派遣先となる国際機関・勤務地はどのような所があるのですか？

A ほとんどの国際機関が対象で、本部又はフィールドオフィスに派遣されます。

派遣先は外務省が派遣取決めを結んでいる国際機関が対象で、UNICEF、UNDP、WFP、UNHCR等が挙げられます(P4参照)。勤務地は、国際機関、JPOの専門分野、派遣時期によって異なります。

Q9

派遣期間中はどのような姿勢が求められますか？

A 正規ポスト獲得のための積極的な姿勢が求められます。

JPO派遣制度は、国際機関での勤務を将来にわたって継続的に志望する方のためのものです。したがって、派遣期間中は、派遣先機関での任務を全うすることだけでなく、様々なネットワークを構築し、情報収集に励み、国際機関の空席情報の収集・分析を行い、自分の専門性・経歴等を活かそうな空席ポストがあれば、積極的に応募することが求められます。

Q10

派遣先での給与等は、どのようにして取り扱われるのですか？

A 日本政府の拠出により、国連職員と同様の給与が支払われます。

派遣されるJPOの給与・手当等は、すべて日本政府(外務省)の拠出により賄われます。JPOの給与は、原則として1年目は、国連職員の「P2レベル、ステップⅠ」に格付けされます(2年目は「P2レベル、ステップⅡ」)。また、手当等は国連職員規則等に基づいて支払われます。(参考:国連職員規則 <http://icsc.un.org/>)

Q11

フランス語で受験できますか？

A できません。しかし可否の検討の際に考慮します。

応募書類、筆記試験、面接では英語を用いますが、他の国連公用語ができることは国際機関職員として活躍の可能性を高めるものですので、可否の際に考慮します。なお、フランス語の語学力の証明(TEF、DELFIなど)を提出していただいています。

Q12

専門職大学院修了者は、応募資格の修士号として認められますか？

A 基本的に認められます。

JPO派遣制度選考試験においては、法科大学院をはじめとする専門職大学院修了者を修士号所持者として学歴要件を満たすものとして判断します。ただし、国際機関に直接応募した場合には、専門職大学院の取り扱いはそれぞれの国際機関により判断されることになります。

Q13

応募者・合格者の平均年齢、TOEFLのスコアを教えてください。

A 平均年齢は31歳、合格者の多くはTOEFL iBTで100を超えています。

応募者の平均年齢は31歳程度(合格者の平均年齢と同じ)です。TOEFLのスコアによるいわゆる「足切り」は行っておりませんが、合格者の多くはTOEFL iBTで100を超えるスコアです。

JPO派遣制度で国際機関職員になる！

国際機関名：国連児童基金
(UNICEF)

タイトル：キルギス事務所代表

名前：空尾 雪絵（もくお・ゆきえ）



写真提供 UNICEF



◆学士号と修士号の連続性について◆

国連機関で働くには、国際政治・経済・文化等の社会科学分野、国際法や人権等が有益です。無論、国際機関によっては医療・教育・社会福祉・農業・金融政策等の専門学位が有効ですし、今後は気候変動、ジェンダー、人権保護、紛争解決等の知識が重要になるでしょう。

学士号と修士号に連続性がないからといって、国際機関への道が絶たれることはありません。むしろ学士号取得後に、ボランティアやNGO等で現場の経験を積んでから修士号取得をするほうが、経験・知識ともに幅が広がります。

また、実務経験を積むことで、どのような専門知識に興味を持てるか、また、将来どのような分野で活動したいかが自身の中で明確になるでしょう。

ユニセフなど現場でのプロジェクトが主体となっている国際機関では、企画・施行・モニタリングなどを統括して行うためのプロジェクト管理能力が非常に重要です。

こうしたプロジェクト管理能力と知識を高めるには実務経験が重要なので、修士号取得前に実務経験を積むことをお勧めします。

私の場合、学士号取得の際に国連機関勤務を視野に入れておりませんでした。国際開発の現場での実務経験がきっかけで、国際機関で働きたいという意思が固まりましたし、どのような分野の研究をするかという展望が見えました。

Career Path

日本女子大学・家政学部住居学科卒業

1987年～ 青年海外協力隊(JOCV)としてフィジーへ

1991年～ 米コーネル大学へ留学(都市地域計画学修士号取得)

1993年 国連食糧農業機関(FAO)でインターン

1995年～ JPOとしてUNICEFモンゴル事務所へ

1997年～ UNICEFコンボ事務所長

1999年～ UNICEFモンテネグロ事務所長

2001年～ UNICEFタジキスタン事務所代表

2008年～ 出産・育児のため休職

2009年～ UNICEFウクライナ事務所代表

2014年～ UNICEFキルギス事務所代表



写真提供 UNICEF

JPO派遣制度で国際機関職員になる！

◆国際機関に入る前の職歴について◆

国際機関の前は、**都市計画**の仕事をしており、その後、**青年海外協力隊(JOCV)**として勤務しましたが、**JOCV**では**都市地域計画**を基にしたものでした。

こうした職歴は、現在の国際機関での仕事とは**かなり違う**ものでしたが、企画・施行・モニタリングといった**プロジェクト管理に関する知識と経験**は、以前の職歴が役に立っています。



◆働き続けている原動力、国際機関で働く魅力などについて◆

20年間勤務している私の原動力は、**差別と格差のなくならないこの世で、人権保護と平等が実現される社会を築き上げる**というロマンチックな志です。単純で素朴な志ですが、この**初心を持ってこそ**、困難な局面も乗り越えられました。

現場で事業を展開しているユニセフで働く魅力は、特に社会的弱者である貧困層や子どもたちの状況や社会、国家政策にどのような問題点があるのか等を直接把握し、実際に事業の成果を目の当たりにできることです。

国連では**福利厚生が充実**していますので、特に女性がキャリアを積むには、**産休育児休暇もあり、仕事と家庭を両立できる社会保障や職場体制が整っています**。

私は**妊娠出産で18ヶ月の休職**をしましたが、**長期休職が仕事やキャリアに悪影響することはありませんでした**。

写真提供 UNICEF

◆管理職になる時の心構え～やりがいと責任◆

国際開発に関わろうと思った契機は、初の海外経験で目の当たりにした**貧困格差やODA事業のあり方に対する疑問と後を絶たない暴力と各地での紛争**を数多く見たことでした。

この仕事を続ける意義は、多くの子どもが暴力や紛争、迫害や差別、貧困格差から守られ、世の中がプラスに動いていくことを願っているからです。

私の熱意とコミットメントは管理職についたからといって以前と変わりません。どんなポストに就いていても「**初心を忘れず**」にすることが大事だと思います。

管理職として働くことのやりがいは、事業の統括・指揮を執りつつ、事業の成果を見られるという醍醐味です。

他方、管理職は責任も大きく、国事務所代表に就任すると外交特権も付与されます。**国際公務員としての任務と役割を果たすという使命がある**ので、私生活上の自分の価値観、行動など、国連の基本的立場を踏まえていなければならず、国連の正規職員で働くには、**真摯な覚悟**が必要です。



空尾さんは国際機関では**男女の差別がなく**働けると言ってます！

◆国際機関を目指す方へ◆

日本の若い方々には、ぜひ世界に目を向けて、その**あふれる力を何らかの形で国際開発に貢献してもらいたい**です。国際機関の仕事は、世界のあらゆる国々の**平和と平等、人権保護や貧困削減、地域開発**に直接関わって成果を出す、**とてもやりがいのある仕事**です。

男女差別なくあらゆる職種につけますし、特に、女性は結婚、妊娠、出産等の人生の節目にキャリア確立とのバランスをとることもできます。

また、国際機関で働くのに**年齢は問題になりません**。様々な分野で知識と経験を積んだ方が国際機関で活躍しています。

国際機関では、貧困国や紛争地での勤務もあるという覚悟も必要ですが、国際機関を目指す日本の若い方々には、**世界への夢を大きく、視野を広く持って柔軟な態度で、これからの人生を切り開いていっていただきたい**と思います。

JPO派遣制度で国際機関職員になる！

国際機関名：国連工業開発機関（UNIDO）

タイトル：ウィーン本部

エネルギー部

再生可能・地域エネルギー課

プロジェクト・マネージャー

名前：青木 健太郎（あおき・けんたろう）



Career Path

1997年 信州大学農学部森林科学
学科卒(学士)

2003年 オーストリア国立ウィーン農
科大学林務官国家資格養成課程修了
(高等技術士)

2004～11年 国際応用システム分
析研究所(IIASA)生態システム・サー
ビス管理プログラム研究員

2008年 オーストリア国立ウィーン農
科大学自然工学博士

2011年～ JPOとして国連工業
開発機関(UNIDO)へ派遣。その後、
正規採用され、エネルギー部 再生可
能・地域エネルギー課 プロジェクト・
マネージャー

◆いつ頃から国際機関を目指そうと思ったか？◆

高校の時、1992年にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで
国連世界地球サミットが開かれ、当時、熱帯林破壊や地
球温暖化の問題が大きく取り上げられていました。

その時、**森林環境問題**に対して関心を持ち、将来、**森
林関係の仕事に携わりたい**と考えました。

情報収集で**FAO**や**UNEP**等の国連機関の名前があり、こ
んな組織に入れば関われるのかと思っていました。

そこで、当時、**森林科学科**があり、多様な森林環境が
広がる本州アルプス地域の大学に進学しました。しかし、
森林環境問題と学問体系が繋がらず、就職先が限られ
ている森林部門で将来のキャリア開発をどうするか、とて
も悩みました。仕事先として何とか具体的に見えていた
のはコンサルティング会社、行政、研究関連ぐらいでした。



◆留学先としてオーストリアを選んだ理由◆

当時はバブル後の就職氷河期で、私を含め大学院進
学者はとても多かったです。**オーストリア国立ウィーン農
科大学**への留学は、たまたま私が大学3年の時に同大学
から来ていた教授が私を呼び寄せてくれたからでした。

ただ、国際的に通用する専門性の基盤づくりと海外で
仕事をする興味は持ち続けていたので、できれば**海外の
大学で学位を取得したい**と考えていました。

JPO派遣制度で国際機関職員になる！

◆留学で学んだこととUNIDOでの仕事の連続性◆

留学で得た一番大きなことは、自分が学ぶべき専門をきちっと体系化して習得できたことでした。オーストリアには森づくりの伝統と持続可能な林業セクターが存在します。現場と直結した専門教育を受けることで、大学に対する社会的な要請と位置づけ、そして専門職が継承すべき森づくりの伝統の大切さと国土保全への責務を合わせて学べました。

UNIDOとの仕事の連続性としては、現在の業務テーマが地域・再生可能エネルギーなので、持続可能な分散型森林バイオマス・エネルギー利用の国際的位置づけに関する**専門性**、現場オペレーション業務のスキルを蓄積することができたことです。

あとは、オーストリアは国際機関の本部がいくつもあり、国際レベルの情報が日本にいた時よりも多く入ってきたことが、現在の国際機関で仕事をするにつながったと思います。



◆国際機関に入る前の職歴はどのように現在の仕事に生きているか？◆

オーストリアで、国内の森林環境問題と政策に関連した研究プロジェクト実施・調整や民間コンサルタント業務に携わっていました。

修士卒業後、国際機関・シンクタンク「**国際応用システム分析研究所 (IIASA)**」のインターンに選ばれ、地球温暖化緩和策に関する政策提言型研究を始めました。

現在のUNIDOでの仕事では、このIIASAで政策提言型国際共同プロジェクトの開発・実施に携わった経験が一番生きていると思います。

IIASAに応募したのは、国際機関なら、EU国内事情に影響されたり、外国籍や現地ドイツ語のハンディキャップに捉われずに仕事がきけるのではと考えたからです。

IIASAでの仕事は、社会経済発展と環境保全を両立してゆくための科学的知見を、どの程度現場に適用できるかという、政策提言づくりでした。それを現場で実証してゆく職種の一つがUNIDOでのプロジェクト・マネージャーの仕事でした。これが**JPOに応募した理由**です。



◆国際機関を目指す方へのメッセージ◆

IIASAとUNIDOの二つの国際機関に共通していることは、**世界中から最善とされる手段を選択し、解決策を提供できる立場にある**ということです。

国際機関における仕事で一番の醍醐味はこの中立性ではないかと私は感じています。

国連における理系の仕事は比較的限られていますが、ただ**国連の専門機関**に興味があるならば、専門性を積み上げおいた方が適切な政策アドバイスを行い易いと思います。

グローバル人材に必要とされるのは、ローカルとグローバルが混ざったような姿勢、つまり、日本人としてのルーツの上に、国際社会の多様な人間環境の中でフェアに振る舞うことです。そのための行動理念と語学力は必要です。

多種多様な文化背景を持った仲間と仕事することはとてもエキサイティングですので、ぜひ国際機関での仕事にチャレンジしてみてください。

青木さんは、**グローバル人材とはローカルとグローバルが混ざった人材だ**とおもしろい指摘をしているね！



JPO派遣制度で国際機関職員になる！



Empowered lives.
Resilient nations.

国際機関名：国連開発機関（UNDP）

タイトル：スーダン事務所

平和構築スペシャリスト

名前：横山 雅子（よこやま・まさこ）



Career Path

立教大学 法学部 法学科卒

2000年～ 民間会社勤務

2006年～ 米コロンビア大学・国際公共政策大学院に留学

2008年～ 国連ボランティア（UNV）/ コンサルタントとしてUNDPネパール事務所で勤務

2010年～ 特活ADRA Japan南スーダン勤務

2011年～ JPOとしてUNDP東ティモール事務所で勤務

2014年～ UNDPスーダン事務所



◆いつ頃から国際機関を目指そうと思ったか？◆

高校の時、貧困生活を強いられているフィリピンの子供たちに、ボランティアで文房具や古着等を寄付する活動をしました。しかし、フィリピンからの手紙には「フィリピンのニーズに合った品物を送って欲しい」と書かれており、フィリピンは年中暑いのにコート等冬服を送っても相手には迷惑だという事に、浅はかながら、この手紙をもらうまで気づいていなかったのです。

そんな時、国連開発計画(UNDP)で勤務している卒業生が高校で講演され、ボランティアではなく、相手のニーズに合わせた国際協力をする仕事があり、UNDPが開発政策策定、紛争国の復興計画等の途上国政府への支援を幅広く、戦略的、かつ、長期的に実施していることを知り、将来はUNDPで働きたいと考え始めました。

◆フィールド勤務への思い入れ、やりがい、気分転換方法等◆

フィールド勤務は日本の豊かな暮らしとはほど遠いことも多々ありますが、裨益者と向き合える分、仕事はとても面白いです。

例えば、東ティモールでは社会連帯省と協働で平和構築事業を実施しました。東ティモールでは国はだいたい安定しているのに、紛争「解決」を主眼にした事業が主体でした。

そんな中、社会連帯省大臣に、2012年大統領/国会選挙に向けて、紛争「解決」から紛争「予防」への移行を提言し、実際にその後、選挙前後の混乱を予防する活動を行い、一定の成果を挙げることができた時には、仕事を動かしている実感がありました。

気分転換についてですが、標高1300Mのネパールの冬に震えながら水でシャワーを浴びても、南スーダンで夜中にコウモリや蛇が部屋に侵入しているのを発見しても、それほど辛いと思っただけでなく、私の方法はあまり参考にはならないかもしれませんが、私のストレス発散の一つは趣味の写真です。

村や街を散策しながら現地の人々に声を掛け、片言の現地語で話をしながら写真を撮らせてもらいます。各地の素敵な写真を撮るだけでなく、現地の人々と触れ合うことも大きな目的です。写真を撮るためには、どこへでも歩き回るので運動不足の解消にもなっていると思います。

JPO派遣制度で国際機関職員になる！

◆民間企業での経験はどのように国際機関のキャリアに活かされているか？◆

私は、大学院に行くための資金調達をする目的で大学卒業後、就職しましたが、今となっては**日本企業で経験を積んでおいて本当に良かった**と思っています。

第1の理由は、お金の大切さを知ったことです。働いて貯めたお金を大学院の授業料につぎ込む時、「この一コマの授業が何十万円だ！」とその価値を思うと、**大学時代とは比べ物にならないほど勉強に集中しました**。

また、国連で働く今でもお金の大切さを実感しています。各国の国民の税金が分担金等となり、その一部をUNDPが有効活用している訳で、説明がつかなかったり、結果の出ない仕事は出来ないと思えるからです。

第2の理由は、**企業での具体的な実務経験がUNDPでもとても役に立っているからです**。私が働いた会社では、事業計画案作成、財務、業者との交渉、クライアントとの折衝、時には100人以上のスタッフ管理などをチームリーダーとしてこなしました。ここで培った総合力は、事業チーム単位で動くUNDPの事業立案から事業実施運営、更に結果を出すという全事業サイクルで共通する働きが多く、大変役立っています。

◆国際機関に正規職員として入る前に、UNDPで国連ボランティア(UNV)やコンサルタントとして実際に働いていますが、その経歴はどのように活かされていますか？◆

JPO合格前、**UNDPネパール事務所**に**UNV**として勤務し、引き続き、**コンサルタント**として勤務しました。この**UNV**としての貴重な経験があったからこそ、**JPO**でも即戦力として順応出来たのだと思います。

UNDPでは**JPOでも正規職員と同じ仕事と責任を任せてもらえます**。逆にいうと、仕事を手取り足取り教えてもらえることはなく、常に自分から学ぶ姿勢が必要です。

JPOとして派遣された**UNDP東ティモール事務所**での私の直属の上司は、違う仕事から抜擢され部長になったばかりで、UNDPでの仕事や複雑な財務システムに戸惑っていました。ですから、私は**JPO**にも関わらず、**UNV**及び**コンサルタント**時代に培った経験を基に上司によくアドバイスをしました。

中でも私の経験が一番活かしたのは、ネパールと東ティモール間の平和構築に関する**南南協力**の土台を築いた時です。以前勤務した**ネパール事務所**時代に立ち上げた事業内容が、新たに東ティモール事務所ですらうとしていたことに似ており、既に事業が始まっているネパールから学ぶためのスタディーツアーを実現させました。

このツアーでは、国やUNDPの事業が将来の紛争の種にならないようにするConflict Sensitivityという概念やその実施状況を学びました。

これを機会に、ネパール政府が東ティモールを訪ねるなどの協力体制を築くことができた上に、東ティモール政府もConflict Sensitivityを導入する運びとなり、大きな成果につながりました。

横山さんは、**JPO**になる前に、民間会社、UNV、NGOで**職務経験**を積んだんだね！



◆国際機関を目指す方へ◆

中長期のキャリア設計を立てることが重要だと思います。私の場合、**JPO**を受けたのは年齢制限ギリギリの34歳の1回だけです。これは**JPO**後の国連でのポスト獲得を考えて、**JPO**の前に**UNV**や**NGO**で途上国経験を積むことを優先したからです。

JPOはあくまで日本政府が国連で働くきっかけを作って下さっているに過ぎず、その後は自分自身で各国から集まる職員たちと対等に競い合っていくてはいけません。

その厳しい競争で生き残るためにも**JPOになる前から現場経験を積む、専門性を高めるなど、実力をつけていくことがJPO後のポスト獲得に繋がると**思います。



③ Y P P 試験で国際機関職員になる！

YPP試験とは？

国連事務局が実施する**ヤング・プロフェッショナル・プログラム**（「**YPP試験**」といいます）は、国連事務局が若手職員を採用するために行う試験です。

年一度試験が行われ、試験に合格しポストをオファーされた者は2年間の勤務の後、勤務中の成績が優秀であれば引き続き採用されます。

試験対象国は毎年異なりますが、**毎年、日本は対象国**となっています。

また、**募集対象の職種も毎年異なります**ので、応募に際しては注意が必要です（今年募集対象になった職種が来年募集対象になるとは限りません）。

国連事務局YPPの情報は**国連事務局ウェブサイト**（<https://careers.un.org/ypp>）に掲載されている他、国連広報センター（UNIC）や当センターのHPでも入手できます。

応募資格

- ・日本国籍を有し、**32歳以下**（受験年の12月31日現在）
- ・英語またはフランス語で職務遂行が可能であること
- ・募集分野に関連する**学士号以上**の学位を有すること
- ・英語或いはフランス語に加えて、他の国連公用語ができることが望ましい
- ・**職務経験がなくても**応募できます

YPP試験のポイントは、**32歳以下、学士号以上、職務経験なし**で応募が可能ということだね！



④ **その他**の方法で国際機関職員になる！

○ 国際機関が実施する若手育成・採用プログラムへの応募

国際機関の中には、国連事務局以外にも、独自の若手職員採用プログラムを実施しているところがあります。国際機関によって名称は様々ですが、**NETI**(The New and Emerging Talent Initiative, UNICEFが実施)などと呼ばれています。

○ 一部の国際機関が実施する採用ミッションへの応募

採用ミッションとは、国際機関が日本人職員を増やすために、人事部長などの採用担当者を日本に派遣して候補者の面接等を行うものです。一般に、国際機関が適格と判断した候補者については、具体的なポストへの選考の際に考慮されることとなります。



ミッション等の情報をGETするには、普段から国際機関人事センターのHPやfacebookを活用してね！

国際機関職員になる前に経験を積む機会

1 国際機関におけるインターン制度

国際機関の中には主に大学院生を対象に、関心のある人に一定期間(通常、数ヶ月)国際機関の勤務体験をしてもらうインターン制度を設けているものがあります。一般的に、旅費、滞在費等自己負担でかつ無給で行われますが、詳しくは各国際機関のウェブサイトでご確認ください。

<http://social.un.org/index/Youth/UNOpportunities/Internships.aspx> には、インターンシップを実施している国際機関のリストが掲載されています。

【応募要件】

原則として、大学院に在学中であること。英語またはフランス語が堪能であること。最短1か月(最長6か月)務められること。



◆海外でインターンをしようと思っている学生・院生の皆さんへ

国際機関でインターンをする場合、多くは無給ですが、日本学生支援機構「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」では、海外の国際機関本部や事務所でインターンを行う場合も奨学金を得られる可能性があります！

<http://www.tobitate.mext.go.jp/>



2 国連ボランティア



国連ボランティア(UNV)は、途上国政府や国際機関が行っている開発支援・人道援助の活動に従事し、分野は、教育、医療、環境、HIV/AIDS、社会開発、ジェンダー、農業、選挙支援、難民支援、人権、コンピュータなど多岐にわたっています。国連ボランティアの経験を生かして、引き続き国際的な仕事で活躍する人も数多くいます。 <http://www.unv.or.jp/>

【応募要件】

原則として、25歳以上で、大学卒業または専門資格を取得していること。英語、フランス語、またはスペイン語でコミュニケーションがとれること。最低でも2-3年専門分野での職務経験があること。

国際機関職員になる前に経験を積む機会

3 国際機関の短期契約コンサルタントとして働く

国際機関で働く方法の一つとして、正規職員というカテゴリーの他に数ヶ月～1年の**短期契約コンサルタント**として働くという方法もあります。

世界各地で起こる災害や紛争によって国際機関が関わる業務やプロジェクトが一時的に増加した場合などに国際機関のwebなどに空席情報の募集が掲載されます。

コンサルタントとして働きながら、国際機関での仕事のやり方を覚え、十分に人脈を形成してから正規職員を目指す方も実際いらっしゃいます。

4 平和構築・開発分野の人材育成事業

世界各地の平和構築・開発の現場で必要となる実践的能力を備えた日本及び各国の人材を育成するための外務省委託事業です。

本事業では、国内研修や海外実務研修に加え、キャリア構築支援などを実施します。



国際機関人事センターからの情報入手方法

<メール配信登録>

当センターは、国際機関に関する様々な情報のうち、**特に重要と考える情報**については、メール配信を行っています。

2週間毎の最新の空席情報もここから配信されます。

メール配信登録は、当センターHPのトップ画面のサイドナビにボタンがありますので、そこから登録願います。



<公式facebookページ>



国際機関人事センターの<公式facebookページ>では、空席情報に加え、皆さんが国際機関の活動に関心を持ち続けてもらえるような国際機関で働く日本人職員の紹介や各種イベント情報などをほぼ毎日配信しています。



国際機関への就職に関する情報をほぼ毎日配信中！
国際機関人事センター公式facebookページ
<https://www.facebook.com/MOFA.jinji.center/>



おわりに

今回のパンフレット如何でしたでしょうか？

このパンフレットを手にとった皆さんが国連をはじめとする国際機関職員になる方法が少しでも分かったのであれば、大変嬉しいです。

このパンフレットはこれまでの国際機関人事センターのパンフレットと違い「JPO派遣制度」だけの説明ではなく、皆さんに国際機関へ入るためには様々な方法があると分かって頂けるような構成になっています。

もう皆さんは、国連をはじめとする国際機関職員へなる方法については一通り理解できたと思いますので、今後は、その夢の実現に向けて、日々努力してください。

そして、国際機関への応募や応募条件について分からなくなった場合には、いつでも、このパンフレットを見返してもらえたらと思います。

グローバル人材を目指すことは、すなわち、自分磨きの一環です。皆さんの活躍を期待しています！





国際機関人事センター

検索

お問い合わせはこちら

〒100-8919 東京都千代田区霞が関2-2-1

電話 03-5501-8238

E-mail: jinji-center@mofa.go.jp